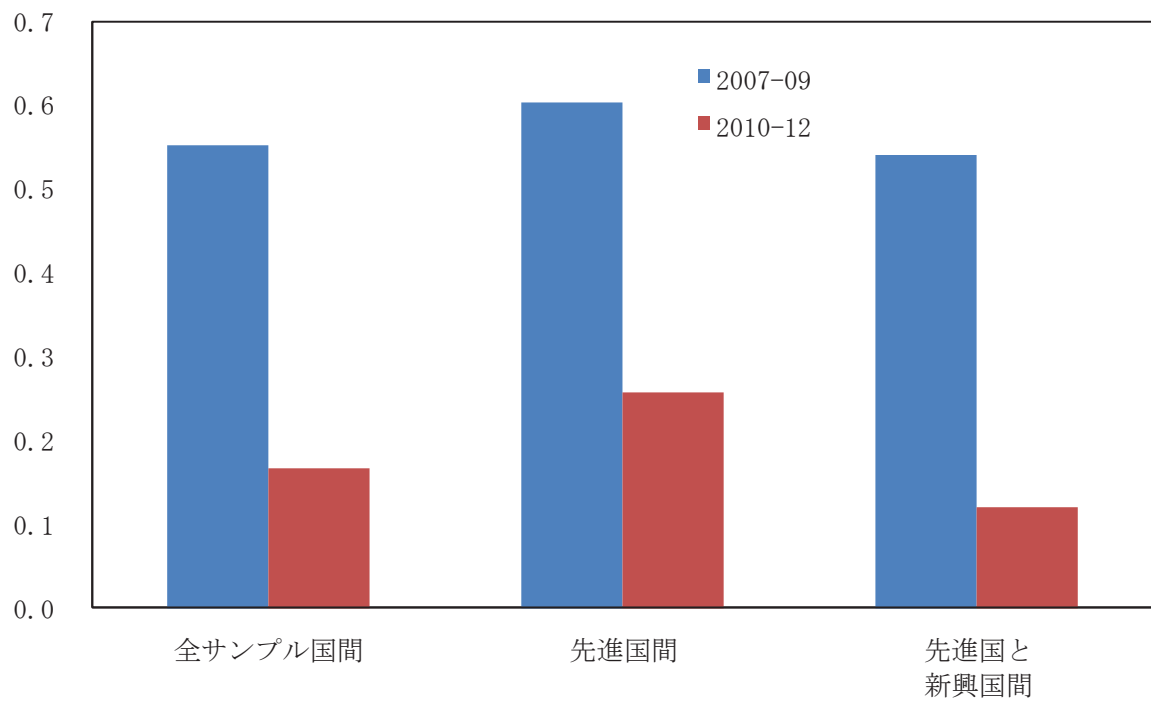


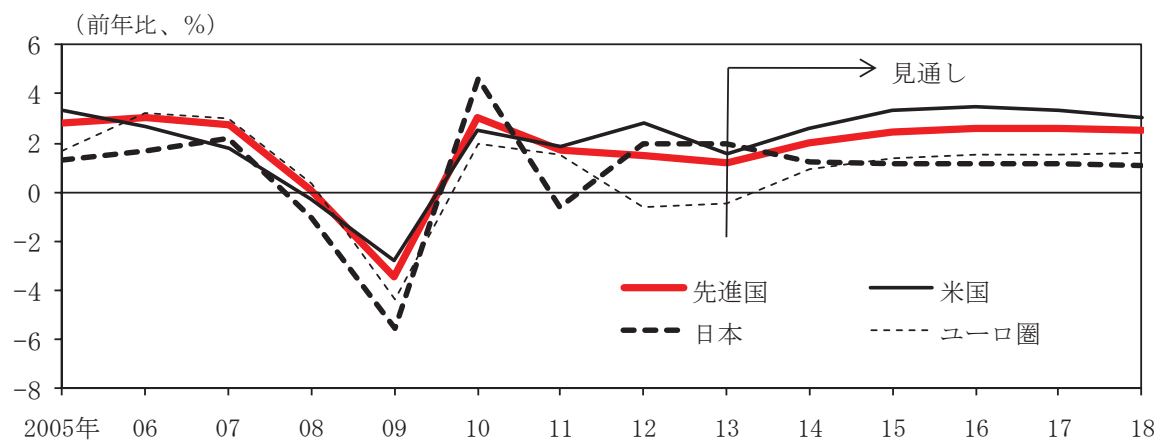
実質 GDP 成長率の相関関係



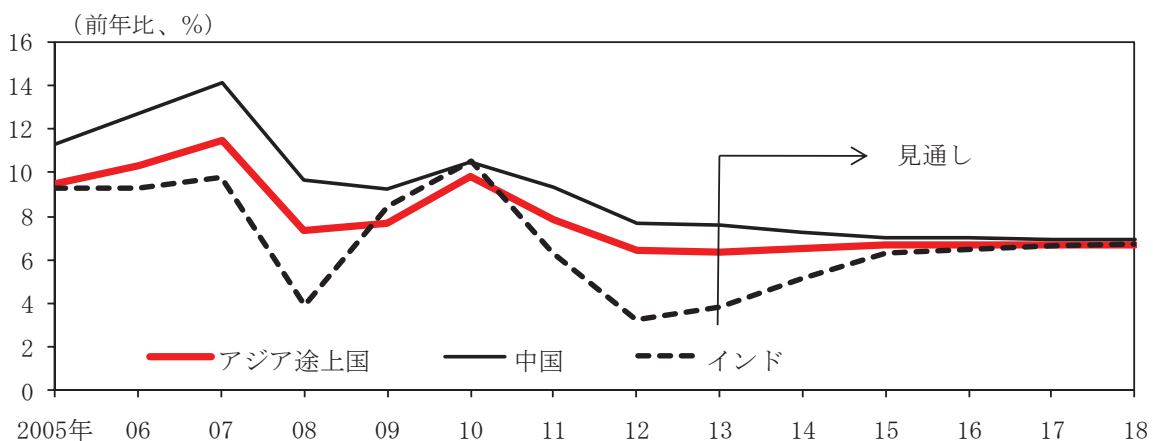
(出所) International Monetary Fund

実質 GDP 成長率

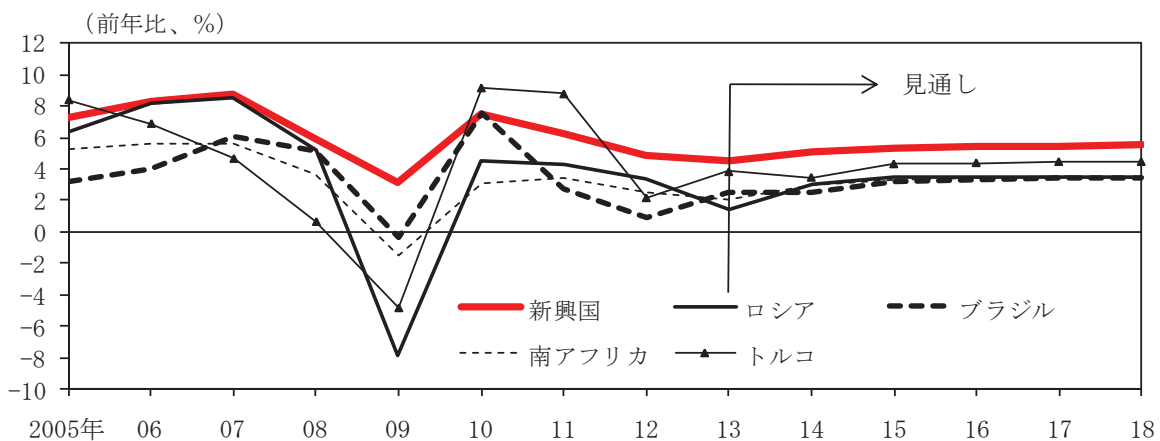
(1) 先進国



(2) アジア途上国



(3) 新興国



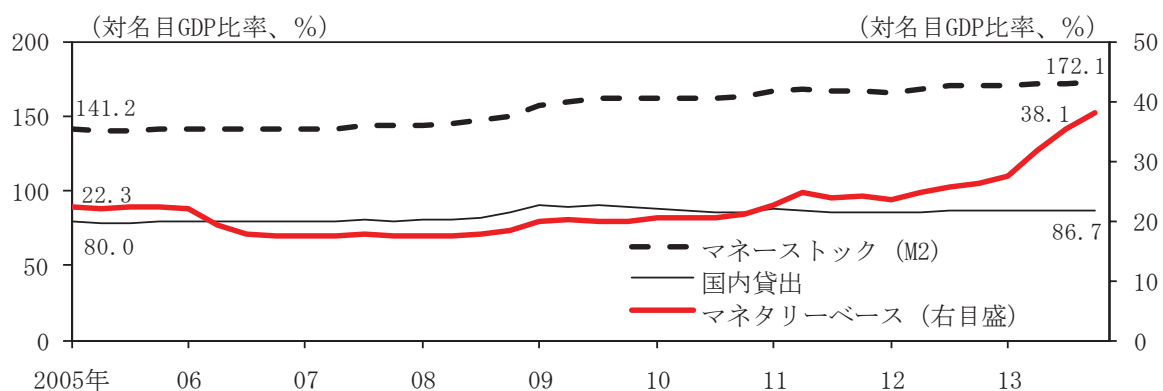
(注) 新興国には、アジア途上国を含む。

(出所) International Monetary Fund

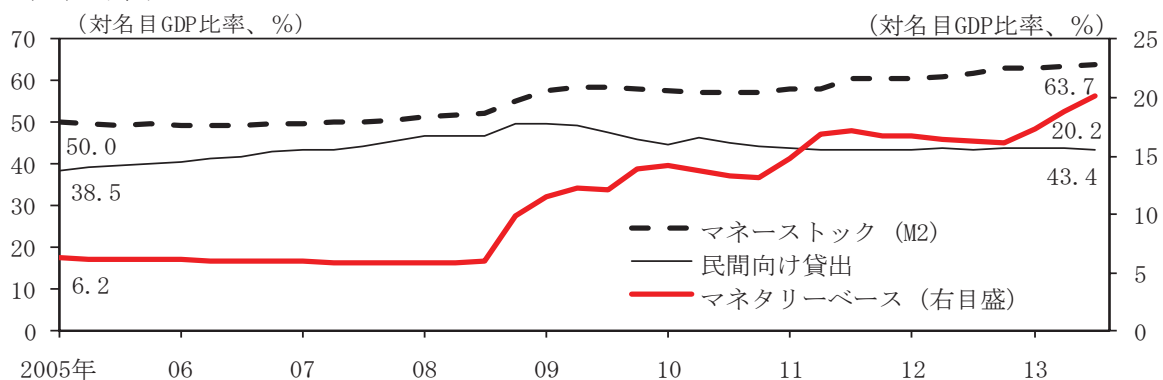
(図表 3)

マネタリーベースおよびマネーストック

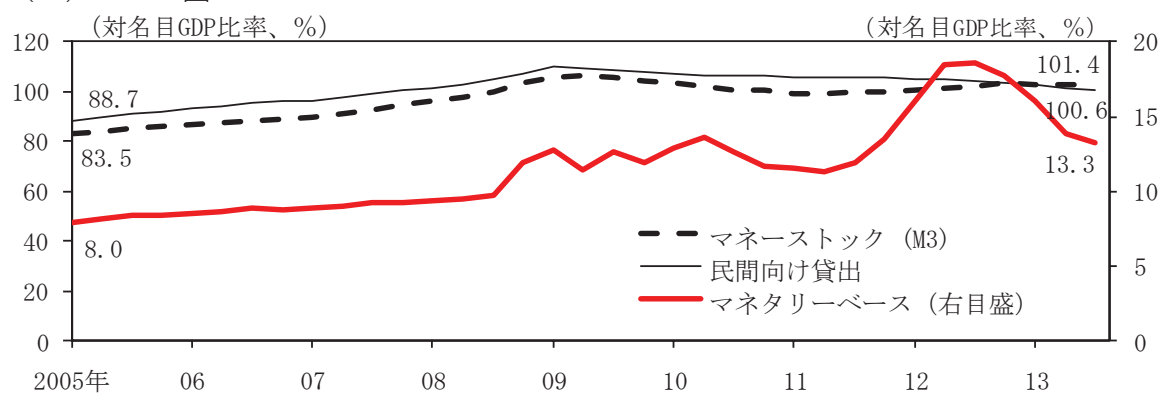
(1) 日本



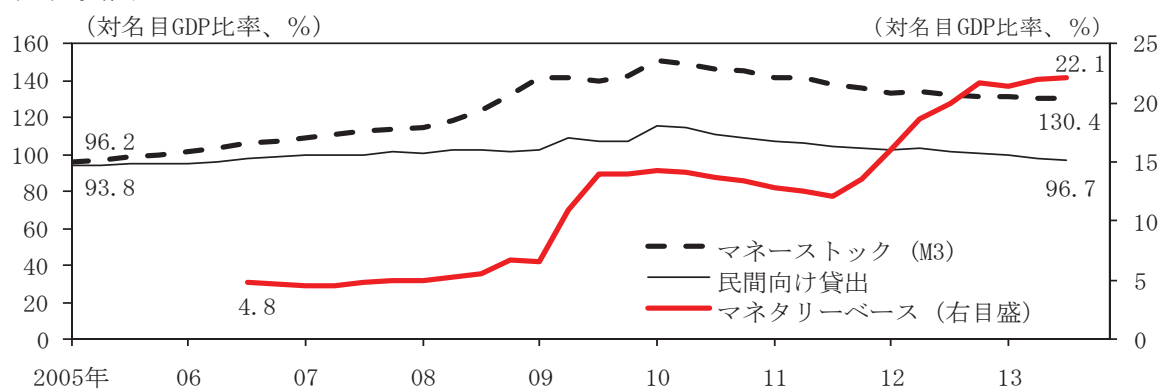
(2) 米国



(3) ユーロ圏



(4) 英国

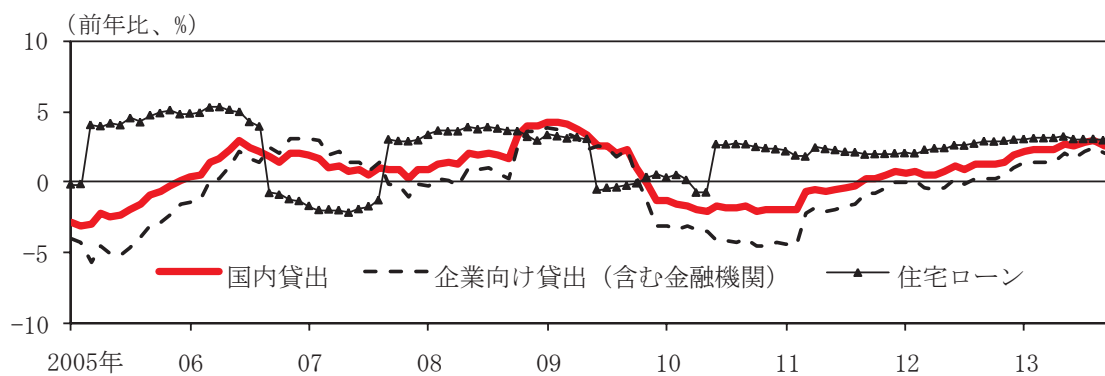


(出所) 日本銀行、FRB、ECB、イングランド銀行

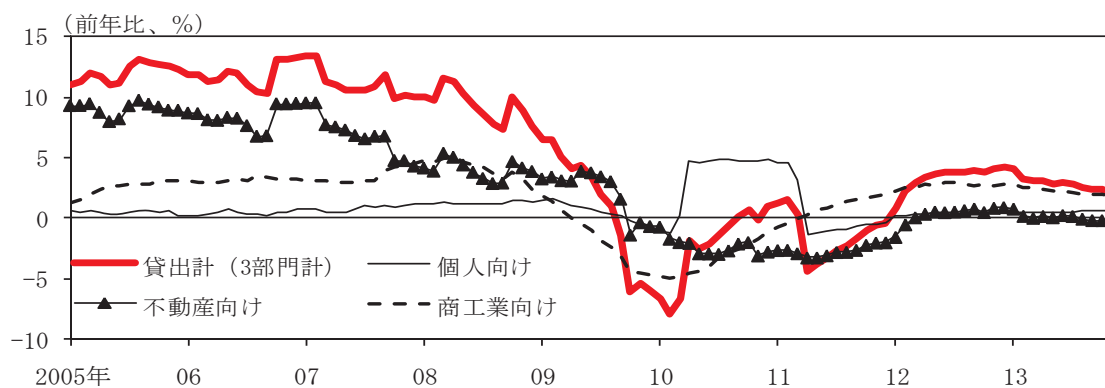
(図表 4)

先進国における銀行貸出

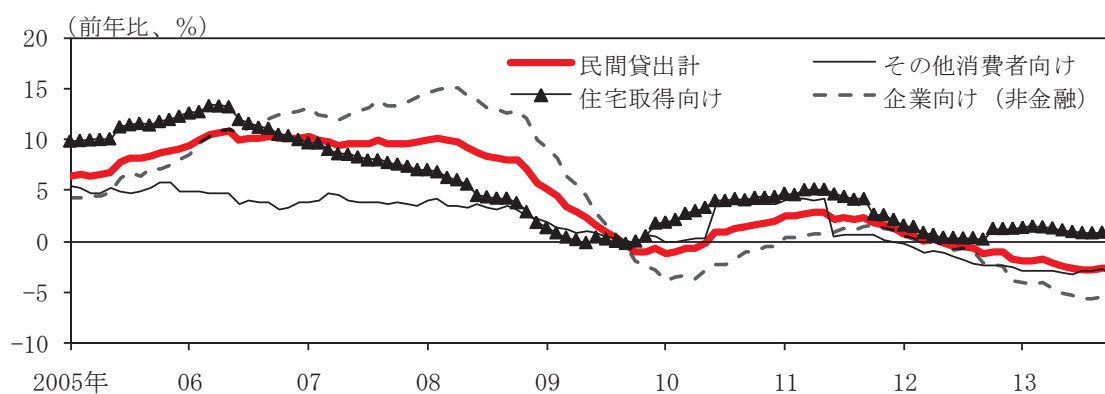
(1) 日本



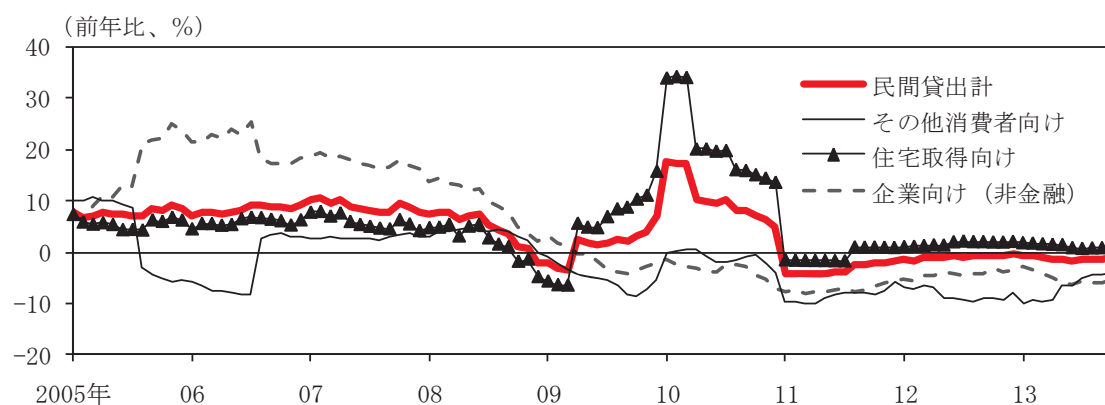
(2) 米国



(3) ユーロ圏



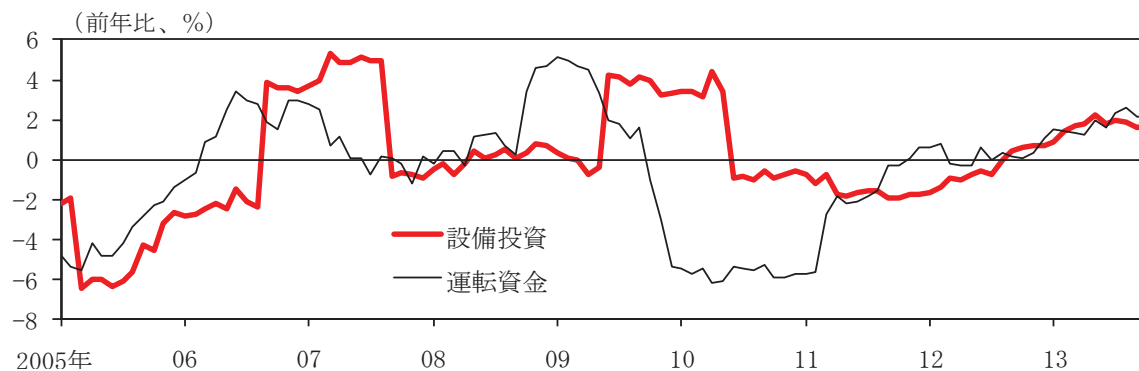
(4) 英国



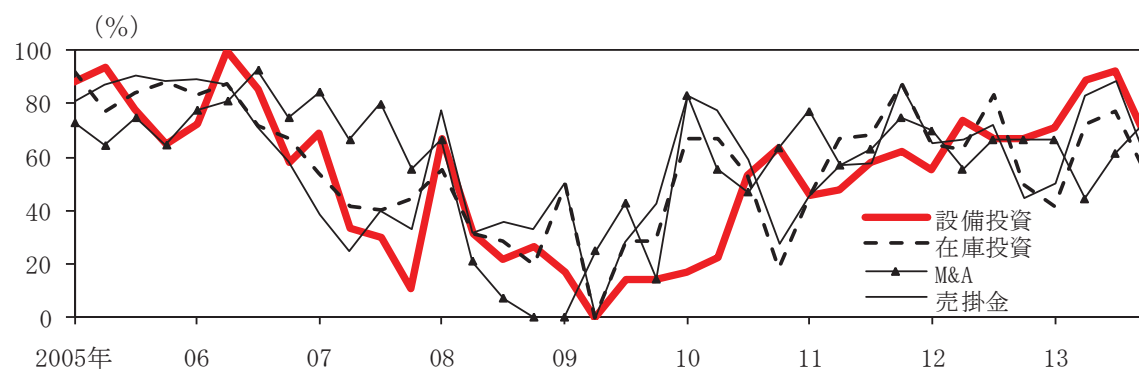
(出所) 日本銀行、FRB、ECB、イングランド銀行

先進国における企業向け銀行貸出増加要因

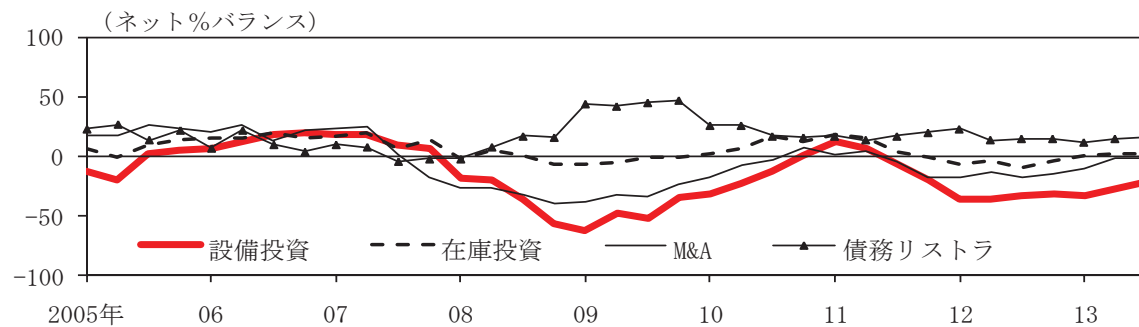
(1) 日本（使途別貸出実額）



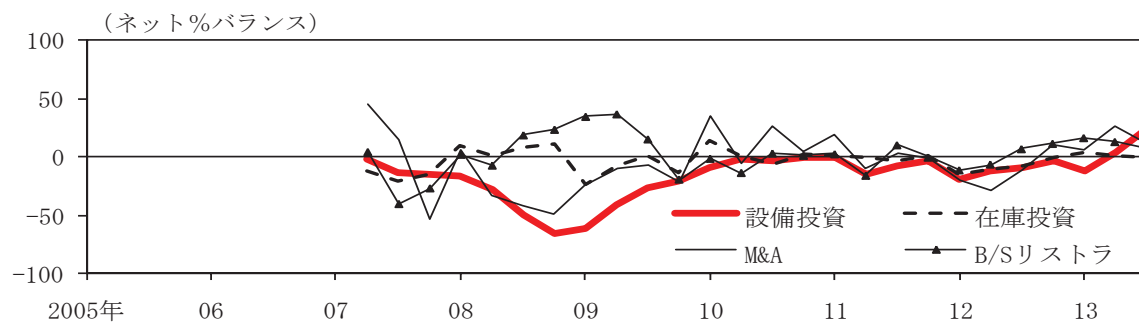
(2) 米国（サーベイ結果：貸出増加先が挙げた増加要因）



(3) ユーロ圏（サーベイ結果：資金需要 DI）



(4) 英国（サーベイ結果：資金需要 DI）

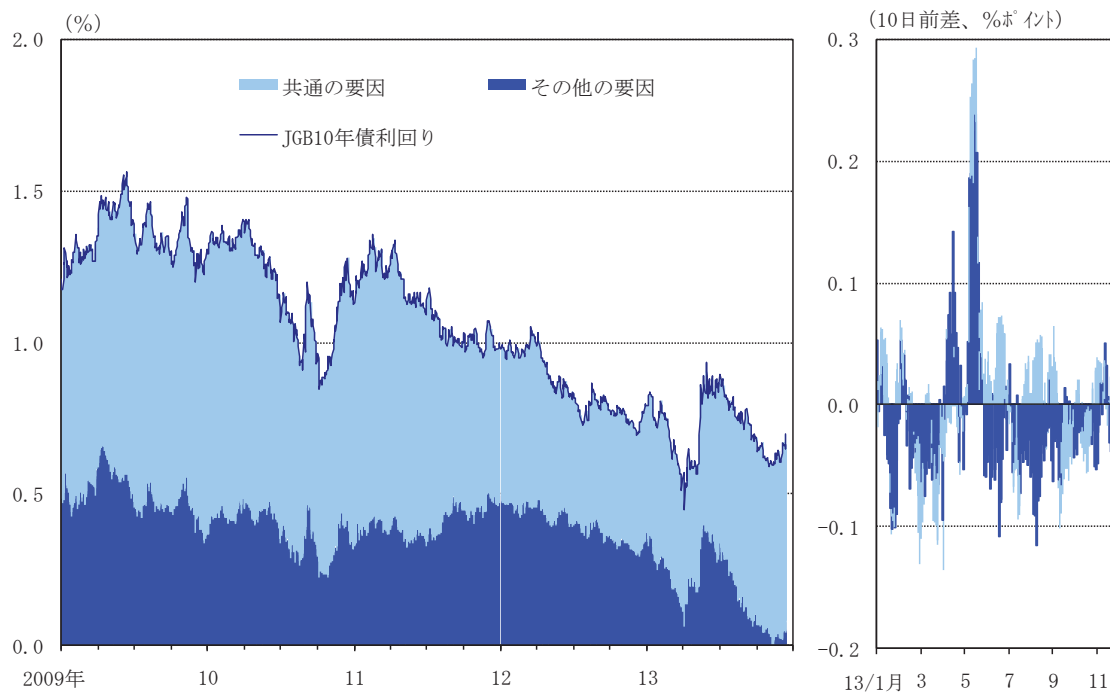


(注) 米国の数値は、各資金増加要因について、資金需要が増加したとの回答者の中で各要素が増加に寄与したと回答した割合を示す。ユーロ圏および英国については、プラスの数値は、同資金需要要因が資金需要の増加に寄与したことを示す。

(出所) 日本銀行、FRB、ECB、イングランド銀行

(図表 6)

わが国長期金利の分解



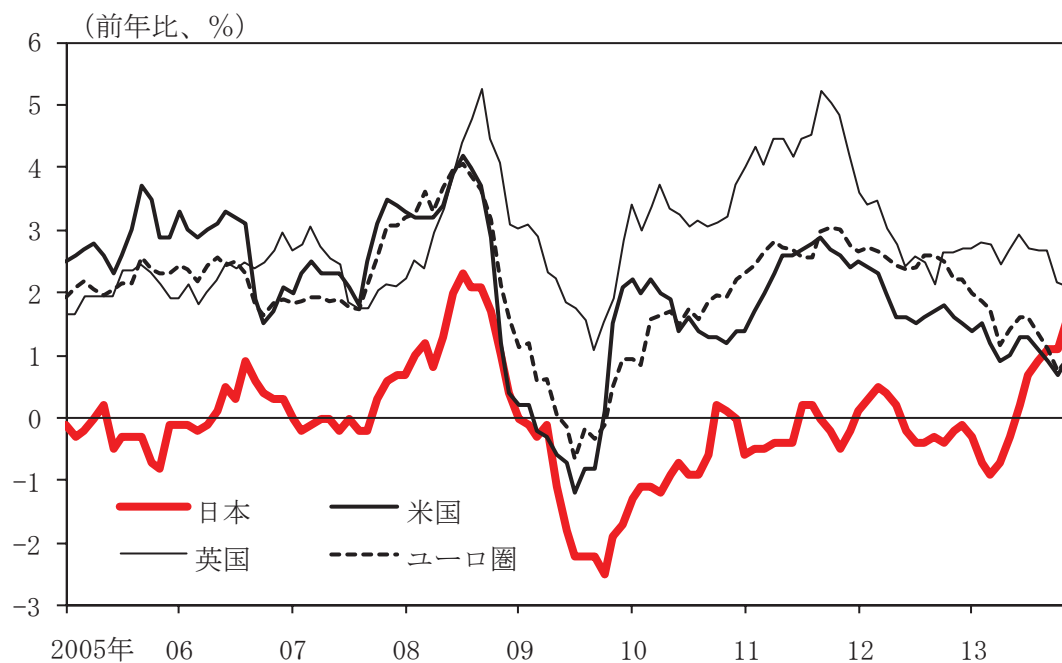
(注) 1. 「共通の要因」は、日米独英の長期金利から主成分分析によって抽出した第1主成分（推計期間における寄与率は0.88）。

2. 「その他の要因」は、わが国長期金利を「共通の要因」と定数項に回帰して得た残差と定数項の和。

(出所) 日本銀行、Bloomberg

(図表 7)

先進国における消費者物価指数（総合）

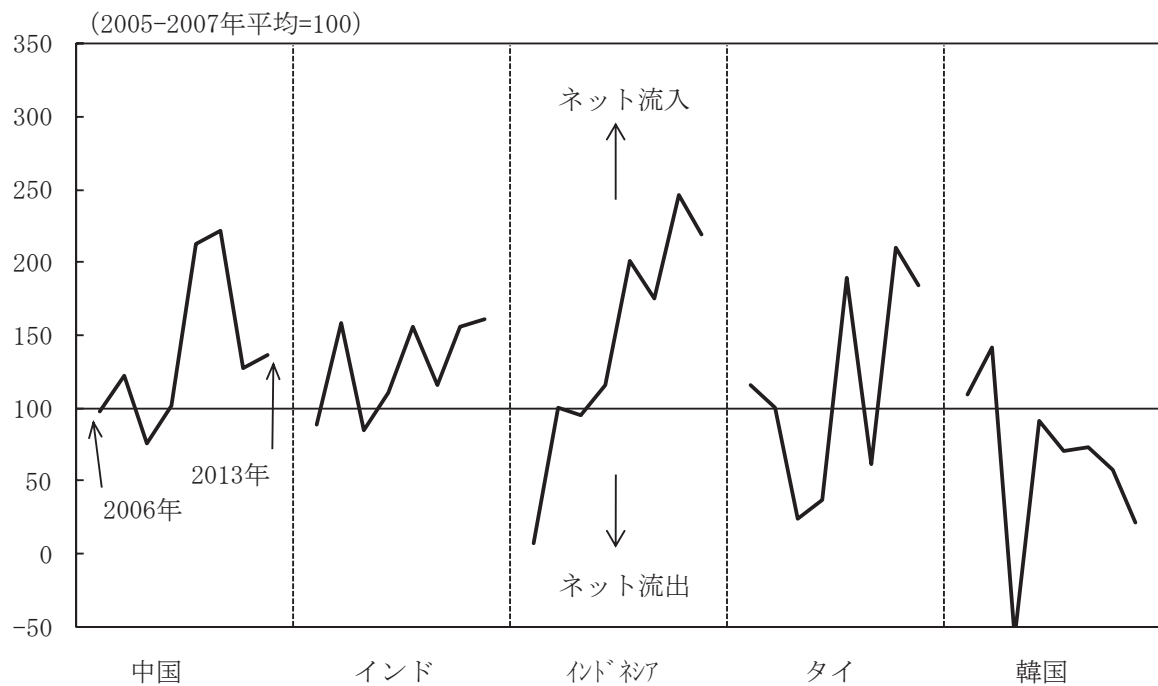


(注) 米国については、PCE デフレーターを使用。

(出所) Bloomberg

(図表 8)

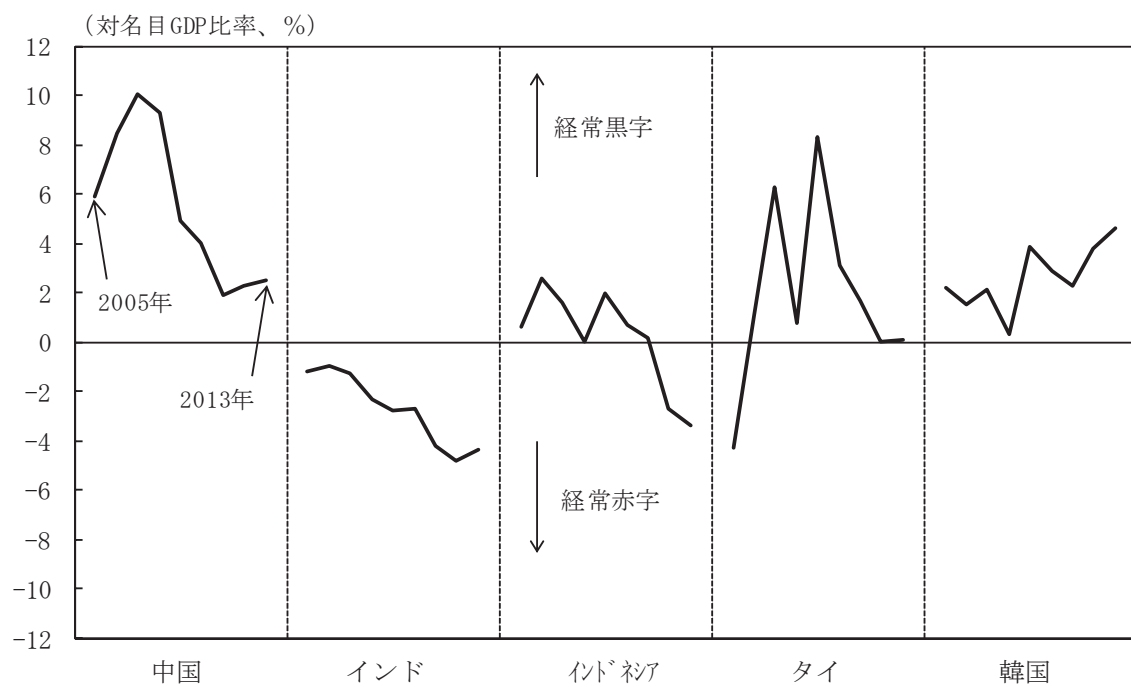
新興アジア諸国へのネット資本流入



(出所) HAVAR Analytics

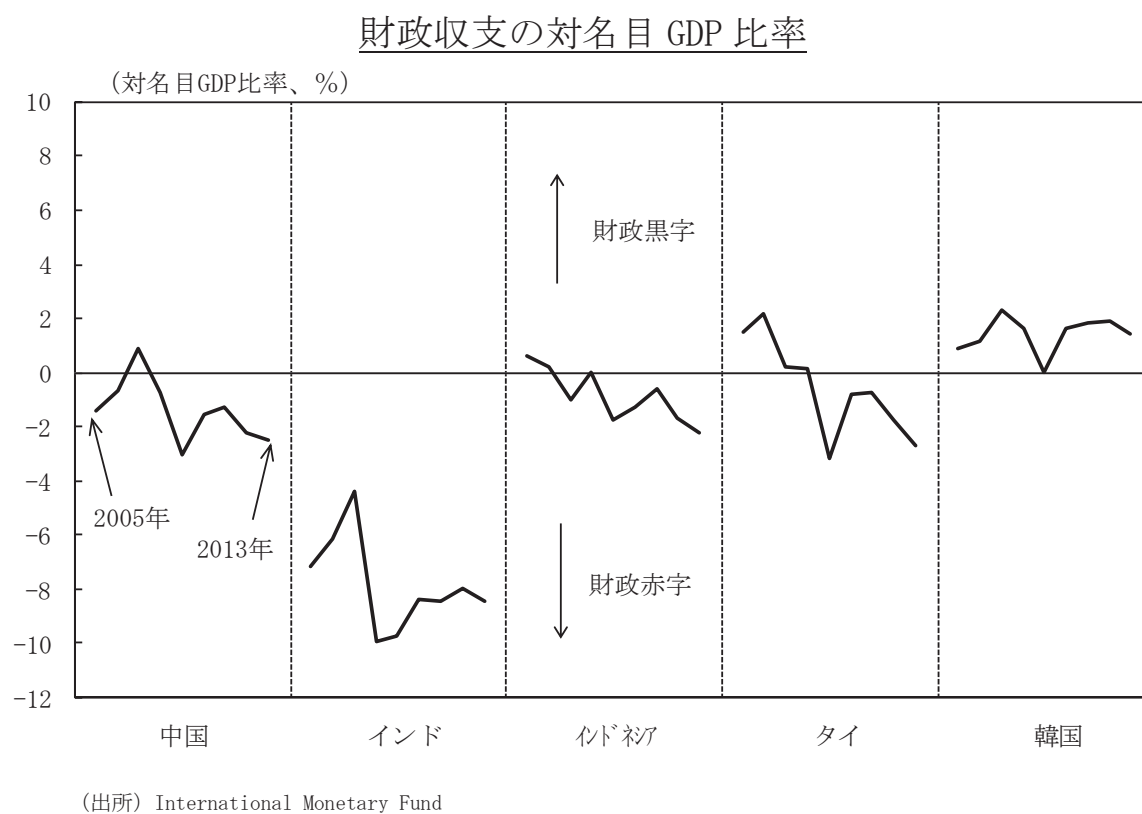
(図表 9)

経常収支の対名目 GDP 比率

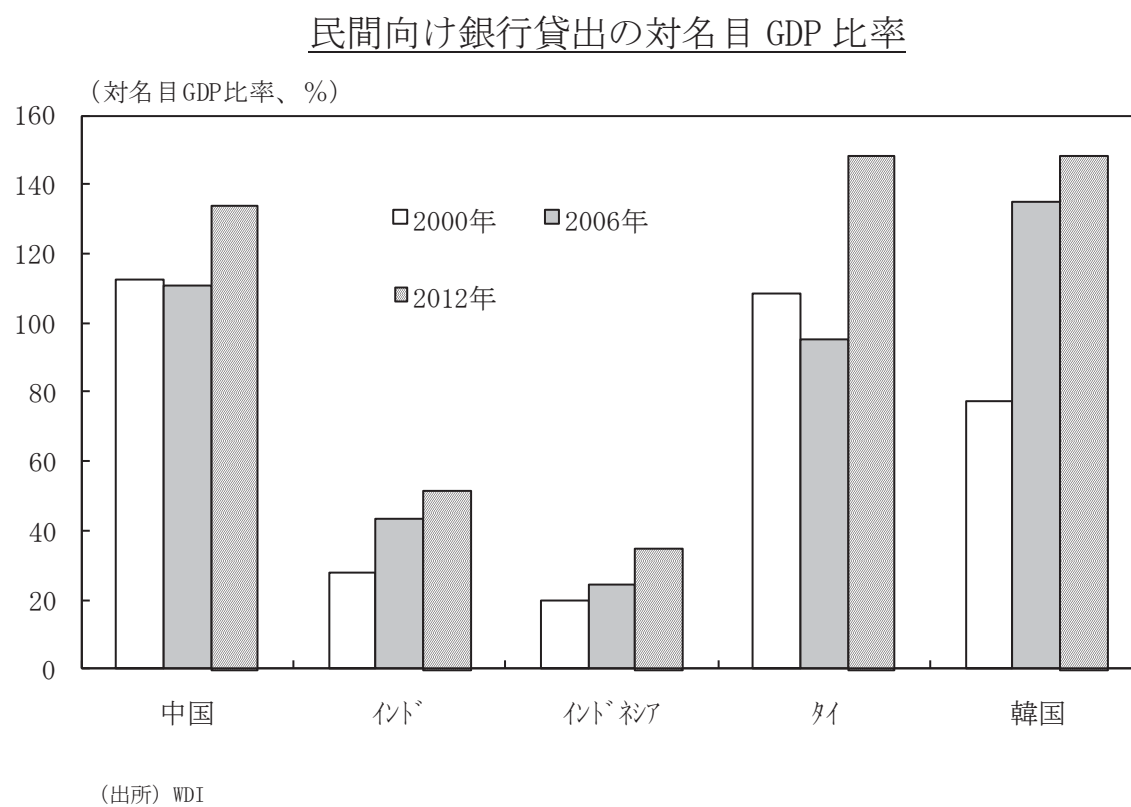


(出所) International Monetary Fund

(図表 1 0)

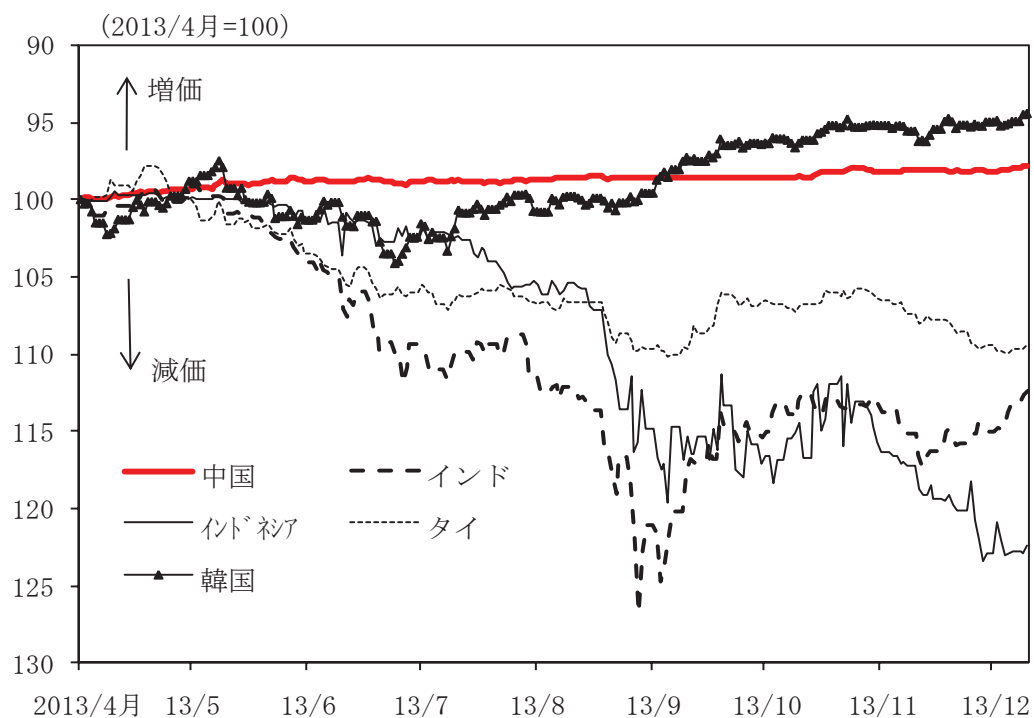


(図表 1 1)



(図表 1 2)

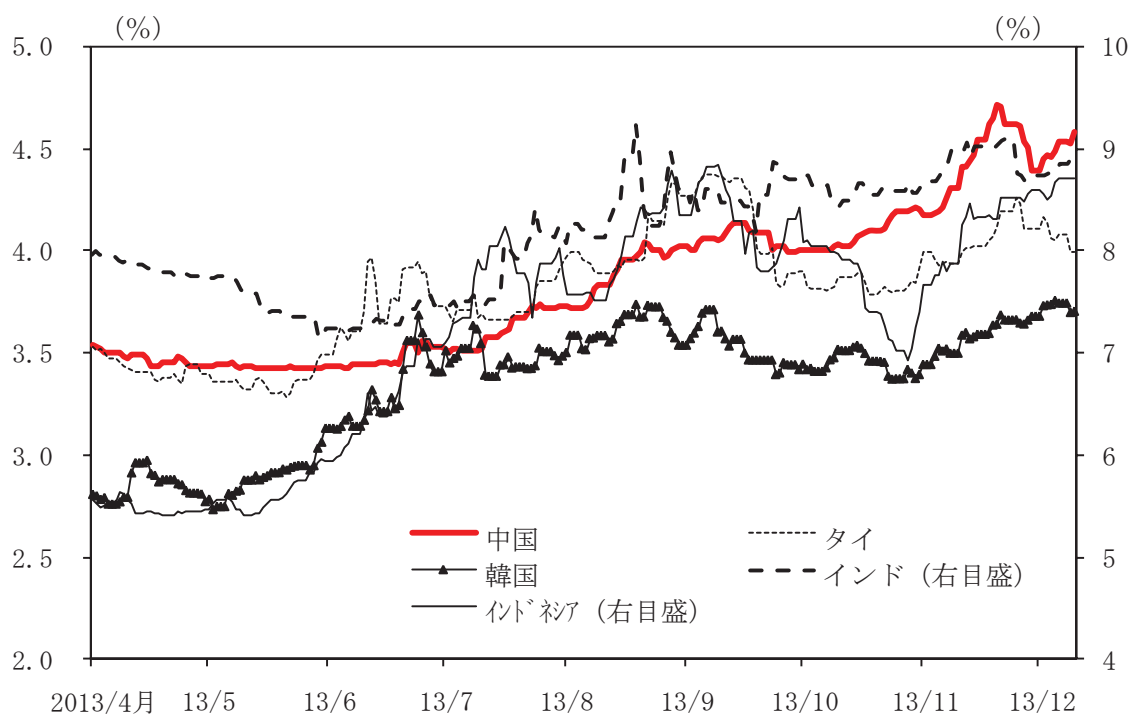
外国為替相場



(注) 為替相場は対米ドルで評価。
(出所) Bloomberg

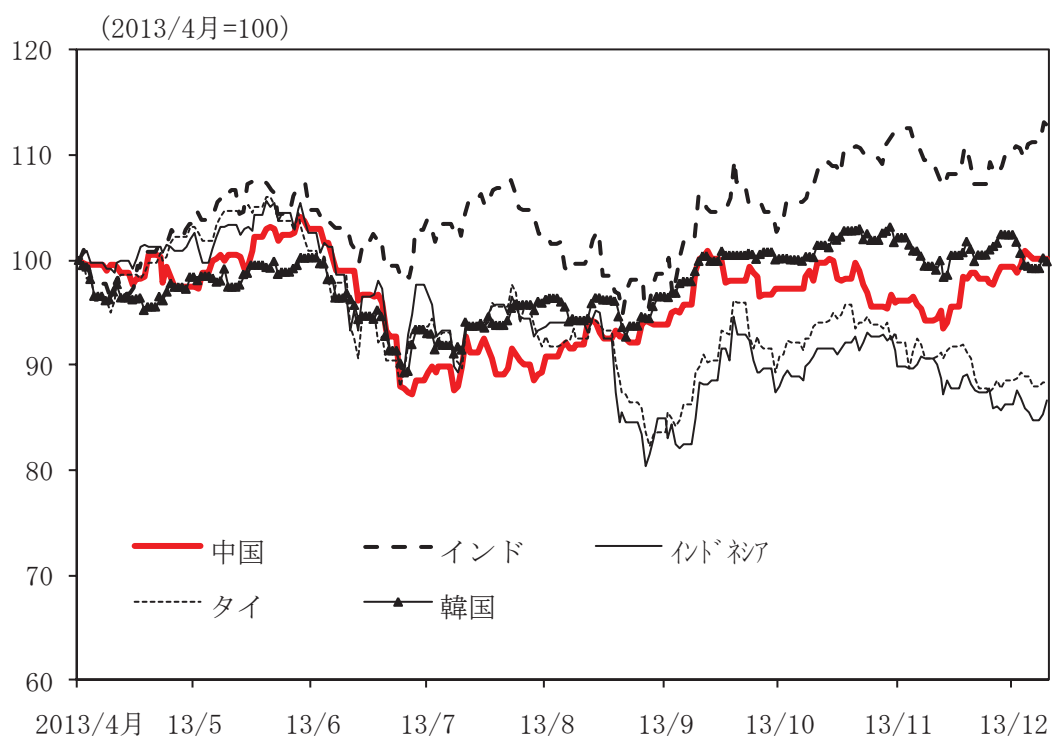
(図表 1 3)

長期金利



(出所) Bloomberg

株価水準



(出所) Bloomberg